

福祉情報を発信します



コロナ禍と社会活動に思う

あすなろ福祉会 理事長 杉井則夫

感染拡大～第三波⇒ 静岡も……

新型コロナウイルス感染症が第三波の拡大期に入りました。今回は全国に感染が広がり、静岡も安泰ではなくなってきました。コロナ禍の当初の問題について私見として5月にHP上に一文を掲載しましたが、その後の状況は悪化の一途をたどっています。

ウイルスの拡散防止と経済活動の活性化という、ブレーキとアクセルを同時に踏む政策の矛盾の中で、私たちはどう動けばよいのでしょうか。

三密は避けて……

長期の閉じこもりは無理！



アベノマスク、特別給付金、飲食店への自粛要請、GOTO トラベル、PCR 検査体制、基本的医療政策など諸施策に対する意見はさておいて、現状であすなろがどうすれば良いのかについて考えてみます。

コロナ感染の防止で一番効果があるのは、人同士の接触をさけるということにつきるでしょう。最初の感染拡大の折に、不要不急の外出は避けてといわれましたが、感染症だけを考えればその通りだと思います。しかし社会生活を過ごしていく中では、長期にわたって閉じこもりを続けることはできません。

施設を休止させないために

そしてあすなろの三施設を考えても、ここが休止してしまったら困る利用者がたくさん

います。

一方で、開所していることによって、職員がどこかで知らぬ間に感染して利用者に二次、三次の感染を引き起こす可能性があります。また通所の利用者、園児などが知らぬ間に感染して、利用者間、職員への感染の可能性もあります。

もしそのような事態になって、施設の休止などになったら、利用者にはより大きなご負担をかけることとなります。

プレッシャーの中での職員の頑張り

こうした大きなプレッシャーの中で、日常の施設運営に係る職員の皆さんの負担は精神面、生活面ともに大きなものだと思いますし、その中で頑張る職員の方々には頭が下がります。

ワクチンの開発も進みつつあるようですが、効果を発揮するまでにはまだしばらく時間がかかると思われます。今はとにかく自分が感染しない、感染しても拡大させないという自衛しかないので



公助は…あてにするな??…自助か？

GOTO トラベルで感染地への利用は制限するが、感染地からの利用は制限なしというような政策方針のもとで、要するに「公助」をあてにするな、もっと「自助」でがんばれということですね。

コロナ禍で福祉は？…私たちの施設運営

風の子
保育園

子どもは集団の中で遊び、仲間を通して学び、成長 …難しい3密回避

この間、園児と保護者の状態は、世間の不安な状況からくる姿そのものでした。

その後、風の子祭り太鼓は例年通り取り組み、『夏祭りごっこ』で披露。その掲示を見て「明らかに3密ですよ。もっと命を守ることに真剣になってください」「運動会は中止にしてもらいたい」という意見をいただきました。

これを受け、話し合い、年長児だけの運動会を行いました。歓声はなくても、感動をかみしめ、保護者から感謝と感動の声をいただいた運動会でした。



保育園は3密回避が難しい場所です。子



どもは集団の中で遊び、仲間を通し学び、成長していきます。

密にならないよう工夫の中で保育を行われていますが、行事もなく例年とは違うことを含め、不安を感じています。

とはいえ、私達のやるべき事は、現状の子どもの姿を出し合い、求められる働きかけを考え、行っていくことだと思っています。

あすなろ
の家

…閉じこもり、生活の不活発は身体・認知機能の低下に 少しでも活動的に、笑顔の時間を

日頃よりあすなろの家へのご協力とご理解、誠にありがとうございます。

まずウィルスを持ち込まないこと
…一時的に面会制限

ご承知のように、市内での新型コロナ感染拡大が続いています。あすなろの家では、11月中旬より、緊急を要する場合を除き、一時的に面会制限をさせていただいております。

今やるべきことは、施設内にウイルスを持ち込まないことだと認識しており、ご理



青空ポール体操

解をお願い致します。

コロナ禍でも、数々の地域活動を

さて、あすなろの家では、地域との「本物の繋がり」を事業計画の柱の一つとしておりますが、このコロナ禍では、地域活動の

自粛・中止が相次ぎ、思うような施設運営ができない状況があります。

しかしこんな状況の中でも“私たちにできること・やるべきことがあるはず！”と皆で話し合い、数々の地域活動を行いました。



た。

少しでも活動的に、笑顔の時間を

家に閉じこもり、生活の不活発が招く、身体・認知機能の低下を防止し、感染予防を徹底する中で、少しでも活動的に、笑顔の時間を作っていきましょうと職員一同頑張っております。

今後もコロナに負けないで頑張っていきたいと思います！



と
も
の
家

大切にすることは、コロナ禍でも 変わらなし

私たちらしく、柔軟な対応に創意工夫を重ねて…

4月の緊急事態宣言から、8か月が経とうとしています。ワクチンが出来れば終息するということでもなさそうな雲行きに、正直、心が折れそうになります。

まず感染対策マニュアルを作成

4月初め、作業所の感染対策マニュアル第1弾を作成しました。理念に則り以下の3点を方針として挙げました。

「三密を防ぐ」「健康を守る」「笑顔で過ごす」

予定が変更や中止になることで、強い不安を感じてしまう仲間がいるため、代替案を提示しました。そして、三密を避けるために、午前と午後の2部制で、通所を続けました。

いつもと変わらぬ作業を

パンのお店も、レジに感染予防シートを取り付け、パンをすべて袋に入れてから販売を開始するなどの対策を行いました。



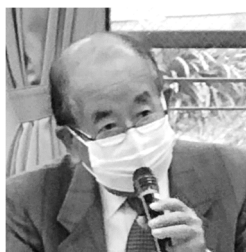
お店に足を運んでくださる、多くのお客さまのお陰で、仲間たちも職員も、いつもと変わらず作業に励み、笑いの絶えない日々を過ごしました。

感染対応マニュアルは、現在第7弾を作成中。先が見えない不安はありますが、私たちらしく、柔軟な対応に創意工夫を重ねて、乗り切ります。

コロナ禍の中で

地域福祉懇談会に代えて

評議員懇談会を開催



当初予定していた「地域福祉懇談会」は規模を縮小し、対象を評議員に限定した懇談会として11月14日あすなろの家で開催、

コロナ禍における各施設

の状況や取組などについて報告を行いました。参加された方から、地域の取組みがコロナ禍でできずにいたが、施設の協力を得てできる事を考え、9月から事業を再開することができた。何が正解か分からない中で職員は大変な苦勞だと思う。ケアハウスの入居者の皆



さんもストレスは感じているが、施設からのコロナ対策に皆協力している。などの発言がありました。

最後に法人の杉井理事長から、懇談会での話し合いを参考にして引き続き頑張っていくことが話されました。

・・・お知らせ・・・

ともの家より

映画会：「星に語りて」を計画中

同時開催：写真展「オレらのすがた展」

令和3年 3月5日（金）・6日（土）

○東日本大震災から10年、あの日を風化させない。そして、社会的弱者と呼ばれる、障がいのある仲間たちが過ごした日々を知ってもらいたい。

○障がいのある人達のありのままの姿を、見て感じて頂きたい。



あすなろの家より

福祉・介護相談会 毎週木曜日

ファミリーマート下野中店で

福祉・介護なんでも相談会を開催。

あすなろの家までは行きづらかったけど、ちょっと心配なこと・相談したいこと、ケアマネ・あすなろの職員がおりますので、是非遊びにいらしてください。



編集後記

休刊のお詫び・・・

年4回の定期発行が6・9月の2号を休刊としました。申し訳ございませんでした。

恐ろしい伝染病が人類を襲う…これは好きなSF・小説の世界と何となく思っていた。しかし、現実には近代史でも天然痘・ペストが人類を襲い、今新しいコロナウイルスが世界に広まり、1年近く経っても



終わりは見えない。

ソーシャルディスタンス、リモートワーク、3密回避の言葉が日常語になったが、福祉はもともと人に寄り添う仕事。それぞれの現場で日々無理を承知の工夫を重ねているのを見て、そして聞くうち、自分の無力を思い、弱気の虫の結果の休刊でした。

これからは、改めてがんばります・・・

加藤